

垂見地区社会福祉協議会

垂見地区社協は、平成7年7月に設立。
地区内の各種団体の代表によって組織される理事会が中心となり、関係団体や機関と連携をとり、地域福祉の課題解決のため各事業を行っています。

会長 川島 孝志

人口：2,809人
世帯数：1,112世帯
行政区数：14
高齢者率：36.2%

- 組織体制 会長1名、副会長3名、事務局長1名、事務局次長1名、理事14名、評議員50名、顧問1名
- 構成団体 行政区長、民生児童委員、老人クラブ、公民館、小学校、保育園、女性連

主な活動内容

□友愛サロン会

日頃から自宅に閉じこもりがちな高齢者（75歳以上の単身者・80歳以上の高齢者のみの世帯）を招待して、健康体操、歌、音楽、食事等を通じた交流とふれあい活動を行っています。

□民生児童委員・福祉委員との交流会

地域における見守り活動などをより細かく把握し、情報を共有するための交流会を行っています。

□地域福祉講演会

地域の住民の方々を対象に、その時々に関心の高い福祉問題等について講演会を開催し、福祉意識の高揚を図っています。



【その他の事業】

- 役員視察研修
- 登校時のあいさつ運動及び下校時の見守りパトロール活動
- 歳末たすけあい事業
- 認知症高齢者徘徊 SOS ネットワーク模擬訓練